SIR IAIN DUNCAN SMITH

Former Secretary of State for Work and Pensions 2010 -2016

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Government
- Leadership

イアン・ダンカン・スミス卿議員は、1992年4月1日にロンドンのチンフォード・アンド・ウッドフォード・グリーンの構成員の議員に最初に選出されました。1992年6月の最初の議会で、彼はマーストリヒト条約に反対しました。一定期間にわたって、英国とEUの間の関係を変更し、最終的に英国が加盟することを不可能にする一連の他の条約の変更が続きます。彼はまた、その間、いくつかの特別委員会のメンバーでした。

1997年から2001年の間、イアン・ダンカン・スミスは社会保障の影の内閣であり、その後国防大臣でした。　2001年から2003年まで保守党の党首を務め、2003年から保守党の党首を辞任し、社会正義センタ□□CSJ□を設立した□CSJは、社会の低所得層の人々が直面している問題に焦点を当てることに専念する組織でした。貧困への5つの道筋と、社会正義を実施し、社会で最も貧しい人々の質を改善するための保守的な方法に焦点を当てた一連のレポート、おそらく最も重要な「英国の突破口：社会的崩壊のコストの終結」を発表しました。また、2013年に、CSJが現代の奴隷制に関する論文「ここで起こる：現代奴隷制と戦うための英国の装備」を発表し、その後、テレサ・メイがこの問題に関する法律を制定したことも注目に値します。

2010年、ダンカンスミスは労働年金省長官に就任しました。これは、障害者手当への支出を10億ポンド以上削減するという決意をめぐって首相との論争で辞任するまでの地位でした。労働年金国務長官時代、彼は現代における最も重要な福祉改革プログラムに着手し、福利厚生制度、年金制度、雇用サービスと支援を変革しました。おそらく最も重要な改革は、ユニバーサル・クレジット（6つの失業と疾病給付をまとめる）の導入、失業者を職場に復帰させるために民間部門と任意部門を初めて統合する作業プログラム、そして国営年金を簡素化する単層年金。

イアン・ダンカン・スミスは、2016年6月23日のEU国民投票に先立ち、メディアや公開討論に何度も登場する投票休暇キャンペーンで主導的な役割を果たし、現在、政府がEUからの円滑かつ迅速な離脱を達成するために、同僚と協力して取り組んでいます。貿易、継続的な友情と協力に基づいて新しい関係を形成します。

政治に入る前は、1975年から1982年までスコッツガーズに勤務していました。この間、彼は北アイルランドとローデシア/ジンバブエで奉仕しました。陸軍を去った後、彼は業界で働き、最初はGUCで、次に不動産会社の取締役として、続いて出版社であるJane's InformationGroupの取締役として働きました。

info@londonspeakerbureau.my　+603 2301 0988